

令和8年度「小代っ子」

香美町立小代小学校
R8.7.8 No.6

◆ふるさとに学び 誇りと夢をもち
心あたたかく たくましい 小代っ子の育成◆

多くの仲間と伝えあうこと

～4校チャレンジ コミュニケーション・ワークショップの取り組みから

6月8日(月)～16日(火)にかけて各学年のチャレンジプランで今年度初めての取り組みとなるコミュニケーション・ワークショップを行いました。

演劇のまちづくりに力を入れている豊岡市。また、演劇を教育の中に取り入れていることでも有名な豊岡市の取り組みは、単なる「劇の発表」ではなく、「コミュニケーション教育」として、市内すべての公立小中学校で体系的に実施されている点が非常に先進的です。

その取り組みを香美町でも取り入れ、子どもたちのコミュニケーション能力を高めることをねらいとして4校のチャレンジプランで実践しました。

非認知能力を育む

演劇の特性である「他者と関わる」「自分を表現する」「協力して作品を創る」というプロセスを活用し、子どもたちの「非認知能力」を育むことを目的としています。具体的には協働性、合意形成能力、表現力、やり抜く力、自制心、他者の視点を理解する力などです。

どの学年も活動の中に笑顔が多かったことが印象的でした。テーマに沿って意見を練り合うことで意思疎通し、伝えあい、考えをまとめる過程に自然とコミュニケーションが生まれていました。江原河畔劇場(えばらかはんげきじょう:日高町)の役者さんたちは子どもたちの良さを認め、子どもたちは劇を作り出すことを通してグループの中で成就感や達成感が得られているように感じました。

各地区とも児童数が減少する中、あらためてチャレンジプランの意義を感じるとともに、「人とかかわる力」も引き続き高めていけるよう努めていきたいと思います。

PTA地区別懇談会・心肺蘇生講習会

7月3日(金)地区懇談会が行われました。小学校より夏休みの生活について説明させていただいた後、8/23(日)に予定されている親子奉仕作業や地区水泳への協力などについて協議、役割分担などを行っていただきました。後半の研修会では、毎年恒例の心肺蘇生講習会を美方広域消防本部の朝倉さん(PTA研修部員さん)にお世話になりご指導いただきました。



あらためての自己紹介



じゃんけんもコミュニケーション!



アイデアを練り合う



グループで考えた劇を演じる



仲が深まる「また会おうね!」

今年は研修委員さんの企画で《プールから119番通報→胸骨圧迫による蘇生→AED操作》という実際に考えられる想定により、説明を進めていただきました。

その中でも通報の電話を切らず、消防署から救命措置に必要な指示を直接受けながら、救急車が到着するまで、交代で蘇生を行えることが学べました。非常時にも消防署からの支援を受けられることは当番の皆さんにとっても大変心強いことと感じました。

P T Aの皆様には、子どもたちの夏休みのくらしや、地区水泳、奉仕作業などで夏季休業中も大変お世話になります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

「6月」登下校の安全指導をしました！

- グリーンベルトの上を歩くこと
- 班長の役目・ついていく人の役目を果たすこと
- 「と・ま・と」の行動《**と**び出さない・**ま**わりをよく見る・**と**まる》
- 列は短く・行儀よく **必要であれば、地域の皆様からお声掛けください！**



～実演されるPTA研修部のみなさん～



小代小ダイアリー

～うれしい1枚！～



ようやくのあたたかい日差し 各学年プール水泳



玄関に飾っているカスミソウ
地域の方よりいただきました

「思いの丈 ～日々のまなざし～」

人の成長を促す小さなやりとり

雨の日が多く、早くプールに入りたい子どもたちにとってのはうらめしい梅雨空が続いていた6月の終わり。学級の朝の活動に足を運んだ。

「朝の会」はどの学年も子どもたちの自治活動。自分たちで司会を行い進めていくが、そのプログラムはどの学年も健康観察から始まる。そこでのやりとりにとっても心が温かくなった。

◆司会「これから健康調べを始めます。Aさん。」◆Aさん「はい元気です。」◆学級の仲間たち「いいね！」◆司会「Bさん。」◆「少し鼻水が出ます。」◆学級の仲間たち「お大事に。」

何気ないやりとり。でも特に仲間たちみんなが伝える「お大事に」に何だか安らぎを感じた。

今年もほほえみ玉手箱の皆さんが子どもたちのために読み聞かせに来てくださっている。始まる前に「勉強頑張ってる？」「はい！」のやりとり。最初の自己紹介の時、児童が自分の名前を伝えた後に「この名前のこの漢字は〇〇って読むんだね。」という声掛け。読み聞かせの後、児童の「ありがとうございます。」のお礼の後に「こちらこそ聞いてくれてありがとう。私もみんなから元気をもらっています。」のひとこと。みなさんが優しく微笑みながら子どもたちと心を通わせてくれている。とても短い小さなやりとりだったが雨模様にはっと陽が差したような気持ちになった。

こんな小さなやりとりや言葉がけが人の成長の実は土台を築いていく。これからは何気ない日常の小さなやりとりを大事に積み上げながら、子どもたちの心の成長を見守り続けていく。